

令和 6 年度 学校評価書 (計画段階)

福岡県立 八幡中央 高等学校

<p>スクール・ミッション (本校の存在意義や社会的役割 目指すべき学校像)</p>	<p>変化の激しいグローバル社会にしなやかに対応し、活躍できる人材を育成する学校 習熟度に応じた指導や芸術コースの特色ある教育活動を充実させることで豊かな教育環境を創りだし、高い志を持ち社会に貢献できる、 地域活性化の担い手となる人材を育成します。</p>	
<p>スクール・ポリシー (三つの方針)</p>	<p>グラデュエーション・ポリシー (育成を目指す資質・能力に 関する方針)</p>	<p>○自らの価値観・信念に基づき考え、判断し、行動できる力 →自律:これからの社会を生き抜く力 ○個人の尊厳を理解し、自他を尊重し協力できる豊かな人間性→敬愛:これからの社会を豊かに生きる力 ○たゆまぬ学びと努力により新しい価値を生み出していく力→創造:これからの社会に貢献する力 ○何事もあきらめずに粘り強く取り組む人材の育成</p>
	<p>カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成及び実施に 関する方針)</p>	<p>○芸術コース、特進クラスの設置により、生徒の多様な ニーズや進路に応じた教育課程の編成 ○ICTやグループワーク、教科等横断的授業を通じた、課題発見能力・課題解決能力の育成 ○習熟度別授業により個々に応じた細やかな指導 ○「学び直し」などによる「わかる授業」の実践 ○協働・共感的態度の育成</p>
	<p>アドミッション・ポリシー (入学者の受け入れに 関する方針)</p>	<p>○好奇心旺盛な人 ○前向きに努力することができる人 ○自分と自分以外の人の良さを認めることができる人 ○いろいろな考え方や立場の人と協力できる人 ○何事もあきらめず最後まで粘り強く取り組むことができる人</p>

<p>学校運営計画(4月)</p>			
<p>学校運営方針</p>	<p>校訓および教育目標に則った教育実践により、中央生としての自覚と高い志を持ち社会に貢献できる生徒を育成し、地域や広く社会に信頼される学校文化を築いていく</p>		<p>評価 (総合)</p>
<p>昨年度の成果と課題</p>	<p>年度重点目標</p>	<p>具体的目標</p>	
<p>本校は創立108年目を迎える伝統校である。学校周辺の地域には本校の卒業生も多く、同窓会からも物心両面にわたり温かい支援を受けており、その期待も大きい。その一方で学校周辺地域では、中学校の生徒数の減少に伴い、本校でも生徒数の確保が難しくなっている。そのような状況において、本校の果たすべき使命は、対外的には保護者や地域に対して確固たる進学実績と地域との連携を示すことであり、校内的には急激に変化する社会に柔軟に対応し、地域で貢献できる人材を育成することである。 そこで、不易流行を大切にしながらも生徒の実態に応じた教育活動の見直しを推進し、生徒に能動的に学ぶ姿勢を身に付けさせるとともに、一人ひとりの能力を最大限に引き出すための個別最適化された学びを実現することにより、主体的に進路を選択する力、その実現に向けて粘り強く取り組む力、さらには社会の変化に柔軟に対応できる創造性豊かな生徒の育成を目指す。 また、戦略をもった広報活動の推進と3年前から導入した特色化選抜により入試倍率が回復して入学定員を満たすことができたが、少子化と私学への流失がある現状を考えると、引き続き生徒募集を本校の重要なミッションとして位置付ける。</p>	<p>鍛ほめ福岡メソッド及び個別最適化された授業の提供により、生徒の自ら学び考える力を育成する。</p>	<p>安易な欠席遅刻を無くし、学習に向かう環境づくりを推進する。(出席率99%以上)</p>	
	<p>ICT機器を活用した生徒の「主体的・対話的で深い学び」の実践による授業改善と適切な評価により生徒の創造的思考および学ぶ意欲を喚起する。</p>	<p>ICT等の有効利用を工夫し、個別最適化された学びを目指す。新しい視点を取り入れた研究授業と教科科目横断型授業を行う。(各教科1回)</p>	
	<p>全体計画に沿ってキャリア教育を推進し、生徒により高い目標設定を促し、生徒の主体的な進路選択・決定およびその実現を支援する。</p>	<p>担任の進路面談(年3回)による個に応じた進路指導と小論文を含む徹底した大学入試問題研究により生徒の進路実現を支援する。(国公立大合格20名以上)</p>	
	<p>厳しさの中にも温かみのある生徒指導及び生徒主体の学校行事、部活動等を通して自己決定能力、自己肯定感、共感的人間関係を育成する。</p>	<p>教育活動全体を通じた前向きな生徒指導により、自律的に考え行動できる生徒を育てる。部活動を活性化する。(加入率80%以上)</p>	
	<p>多様性を認め、自他を尊重し、いじめや差別のない教育環境をつくる取組を推進する。</p>	<p>教育活動を通じて一人ひとりが大切にされた環境を作り(生徒への言葉遣い・校内の掲示物・清掃状況等)、自尊感情の育成と将来への展望が持てる人権教育を推進する。</p>	
	<p>芸術コース・特進クラスの目的・目標に即した取組を推進し、新たな特色を創出する。</p>	<p>芸術コースの検定(色彩・硬筆毛筆書写)合格率を上げ(90%以上)各種公募展上位入賞者を増やし(九州大会以上20名以上)、生徒の自信と将来への意欲を高める。特進クラスの国公立大学への進学実績を上げる。(国公立大合格15名以上)</p>	
<p>中学生・保護者・地域・同窓会等に本校の魅力ある教育活動を発信する戦略のある積極的広報活動を推進して、生徒募集につなげる。芸術コース・特進クラスの目的・目標に即した取組を推進し、新たな特色を創出する。</p>	<p>学校ホームページやインスタグラム、地域に回覧している広報紙及び学校説明会などを通して本校の教育活動を適宜発信していく。</p>		

様式3

評価項目		具体的目標	具体的方策	生徒、保護者対象のアンケート (外部アンケート等)の項目等	生徒、保護者対象のアンケート (外部アンケート等)の結果等		
学務部	教務部	充実した正課授業の実現	「わかる授業」「できる授業」等、生徒が自ら学び考える力を育成する授業の実現にむけて改善を図る。また、観点別学習状況評価を適切に実施・検証し、指導・評価の改善および生徒の自ら学び考える力の育成を図る。 授業評価アンケートを年2回実施し、授業の工夫・改善に役立てる。	授業評価アンケート(年2回)			
		基本的な生活習慣の確立・家庭学習の定着	保護者の協力を得ながら、関係各所とも連携を図り、安易な欠席・遅刻を減少(出席率99%以上目標)させる。 学年・教科と連携し、1日学年+1時間以上の家庭学習時間の確保に努めさせる。				
		情報課との連携・成績処理等の管理徹底	観点別学習状況評価が円滑かつ適切に実施されるように、成績処理システム及び教務規定の点検・見直し・整備等を行う。 情報課と連携し、成績処理・生徒指導要録等の管理徹底を行う。				
	広報・庶務課	認知度を高める広報活動・充実した教育活動の推進	同窓会やPTA等との連携を深め、教育活動の活性化を図る。 中学生や地域等へ、本校の魅力情報を戦略的に発信する。 特色ある活動に加え、一般クラスや部活動等を積極的に外部に紹介し、ホームページの活用を促進する。	学校満足度アンケート			
	生徒育成部	生徒指導課	自己決定能力の育成	TPOに合わせた挨拶の励行を図る。 ルールの遵守を図り、規範意識を高揚させる。 授業を中心に据えた生徒指導を行い、授業規律を確立する。	学校生活アンケート いじめアンケート		
			自己肯定感の育成	体育大会や文化祭などの学校行事を通し、達成感を体感させる。 生徒会役員のリーダーシップを育て、学校への帰属意識を育てる。 生徒主体の学校行事や部活動を通し、学校への誇りと愛情を育てる。			
共感的人間関係の構築			学校行事や部活動を通し、他者と協働する心を育てる。 学校生活アンケート等の事後指導を実施する。 面談週間の実施により、生徒に寄り添う体制を整える。				
健康教育課		生徒の健康課題の把握と学校と保護者の連絡体制の確立	定期的に学校生活アンケートを実施し、問題を早期発見する。 月2回程度のスクールカウンセラーによる面談をおこない、職員で情報共有する。 委員会活動を通じて学校美化や衛生意識を向上させる。				
		キャリア教育課	3年間を見通したキャリア教育の推進	3年間で一貫性のある進路指導計画を作成し、実行する。 朝の学習を通して、自学自習や読書を習慣化させるとともに、読解力、読解力、計算力をつけさせる。 模擬試験においては、全国平均と本校平均の差が15点以内となるように取り組む。			模擬試験の結果
			第一進路希望の達成と学校満足度の向上	総合的な探究の時間を通して、希望進路実現に向けた意識付けを行う。 特色ある芸術コースと特進クラスにおいて、地域や大学との連携活動を行う。 進路実績として、国公立大学に20名以上の合格者を掲げる。			学校満足度アンケート 進路決定状況
各種検定試験の資格取得率の向上	普通科において、実用英語技能検定の準2級以上の合格者を30名以上とする。 普通科において、数学検定の合格者を10名以上とする。 芸術コースにおいて、色彩検定や毛筆・硬筆検定の合格率を90%以上とする。		各種検定の合格状況				
情報課	教員の情報活用能力の向上と各種システムの円熟化	情報課主催の校内研修を本年度2回実施する。 ICT機器を管理し、利用しやすいよう整備する。 適切な情報管理や活用を通して、情報漏洩の防止に努める。	県教育委員会が示すICT活用推進方針にある目標の達成度				

様式3

研修部	研修・図書課	教科科目横断授業、ICT活用授業など「主体的・対話的で深い学び」の推進	研究授業を用い、各教科年1回以上、教科科目横断型授業を行う。 研究授業協議で新しい視点を取り入れた主体的学びを研修する。 ICT活用授業や他教科の授業に学ぶ公開授業月間を年2回設ける。	読書と芸術鑑賞会アンケート	
		読書の推進と芸術鑑賞会の充実	「先生からのおすすめ本」を年4回以上冊子にし生徒に配布する。 週1回「朝の読書」を行い本への興味や読む力を少しずつ高める。 限られた予算で良質な芸術鑑賞会を維持できるように企画を工夫する。		
	人権教育課	思いやりの心の育成	多様性を認め合い、思いやりの心を持った生徒を育成する。 「言葉の重み」について触れる機会を持ち、言語環境を整える。 情報共有を行い、組織として安心・安全な教育環境作りに努める。	言語環境振り返りアンケート	
			規範意識の育成 将来を見据えたキャリア教育	学校内外での挨拶を奨励し、礼節を重んじる生徒を育成する。 生徒に将来の姿を考えさせ、それに基づいた進路指導及び助言を行う。 外部企業とも連携をし、将来像に近い進路選択の支援を行う。	
2学年	共感的人間関係の構築 進路意識の向上	生徒理解をベースとした指導を行い、生徒の心の変容を促す。 生徒が活躍する場を多く設け、多角的視点から物事を考えさせる。 探究活動を計画的に実施し、将来について深く考えさせる。	学年での生徒向けアンケート 進路希望調査		
3学年	規範意識・責任感の育成 進路実現	挨拶を奨励し、実社会でも活かせるよう礼儀作法を身に付けさせる。 積極的にクラスや行事で役割を担わせることで責任感を育成する。 個人面談を随時実施し、個々に応じた受験型に関する助言を行う。	卒業前の充実度振り返りアンケート		
芸術コース	芸術の基礎的知識技能の習得と高い専門性の育成、及び地域貢献活動の推進	検定合格率90%、各種公募展上位入賞(九州大会以上)20名、芸術系国公立・難関私立大学合格者9名以上を目標に取り組む。 芸術的スキルを生かした地域貢献活動を生徒主体で企画運営する。	地域貢献活動事後アンケート		
特進クラス	地域貢献できる人材の育成と4年制大学進学意識醸成、実績向上	九州国際大学との連携事業を継続し、生徒の視野を広げ、進路について深く考える契機を与える。主に模試の前に実施されるユメチカにおいては、国数英を中心とした学力補充に注力する。	特進クラスの生徒向け意識アンケート		
事務室	教育環境の整備充実	生徒が安全安心な学校生活を送れるよう施設や物品の修繕・購入等を行う。 学校教育目標を実現するため、予算のより効果的かつ効率的運用を図るとともに、柔軟かつ臨機応変な予算対応を行う。	学校施設設備の満足度アンケート		
	事務室の機能強化	学校の課題等について共通理解を持ち、積極的に学校経営に参画する。			